

世界遺産登録20周年プレイベントフォーラム

世界遺産地玉置水源の森

いのち輝く神域林景観再生をめざして

ネイチャーポジティブの国際目標を視野に

主催 玉置の世界遺産を守る会

後援 玉置神社

フォーラム
+
玉置古道walk

2023年11月11日(土)12日(日)

■フォーラム

11月11日(土)

13時~16時

開場12時半

聖地玉置は山全体が御神体であり、そのエネルギーが巨杉群や神社を支えてきました。かつての広大な神域自然林の大半は杉檜の人工林に代わり、その成長に伴い森林環境は悪化、生態系は貧弱化して水源涵養力は衰え続けています。世界遺産として評価された「自然と人間が一体となって織りなされた宗教文化的景観」の後世への継承は、どうすれば？

十津川村民ひろば (奈良県十津川村折立285)

入場無料 定員200名 (申し込み不要)

<ゲスト>

水野雅弘

挨拶

玉置神社宮司 舛谷 武

基調報告

玉置の世界遺産を守る会代表 原秀雄



玉置公良

株式会社TREE代表 「サステナブル地域デザイナー兼メディアプロデューサー」
政府の再生可能エネルギー事業者育成やSDGs人材育成、脱炭素など持続可能な地域プロジェクトを推進。外務省や環境省など政府の普及啓発事業などプロデュース。
高野山や熊野古道など観光振興や移住政策など自治体の地方創生に深く関わる。



梶嶺レイ

元「世界遺産国会議員連盟」特別顧問、和歌山県議の時「熊野古道を世界遺産に」と
提言「高野熊野世界遺産連絡会」を立ち上げ、会長として登録活動に尽力する。
後、国会議員となり、玉置神代杉着生木伐採問題に議員連盟代表として調査にあたった。



原水音

写真家/医師。20年間、北海道から熊野に通い人々の信仰、伝説、生活古道等を
追いつける。著作に「誰も知らない熊野の遺産」(ちくまカラー新書)他
本での紹介が、熊野街道上にあった玉置神社一の鳥居再建につながる。



シンガー、ライター 1989年カリフォルニアから玉置神社神域内の玉置川集落
に移住。ここで生まれた三男は、世界で活躍するマジシャンHARA。
著書「聖地をたどる旅熊野」「地球のまわる音を聞きながら」(光文社)他

■玉置古道walk

11月12日(日)

8時半~12時

松平参詣道 玉置川から玉置神社へ

滝が連続する渓谷沿いの道。玉置は水源山と実感できる。

集合 玉置神社駐車場 定員30名

車を置き、乗合わせかマイクロバスで玉置川へ

参加費 500円(保険料込み、バス料金別)

(事前申し込み制)

● お申し込み(11/7まで)・問い合わせ



このQRコードから。今回は参加できないが、今後連絡希望の方も。

mail project.for.tamaki@gmail.com

tel 090-2363-9048(19:00~22:00) ※ イベント趣旨文ウラへ→





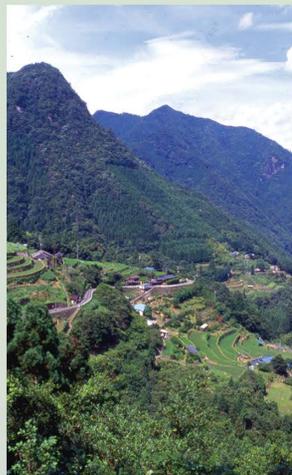
玉置水源の森 神域林景観再生へむけて

紀伊山地では、豊かな自然のもとで山や岩、樹木や滝などを神聖視する**自然信仰**の精神が生まれ、修験道の吉野 大峯、神仏習合の熊野三山、密教の高野山の三つの山岳霊場が生まれました。これが「自然と人間が一体となって織りなす、世界に類を見ない文化的景観」として評価され、この地が世界遺産に登録されて来年は**20周年**を迎えます。

玉置は明治維新時、伊勢神宮に匹敵する**広大な神域自然林**を持ち、山自体がご神体であり、紀伊半島の**水源の山**としても崇められ、神仏の籠もる特別な地域として人々の信仰を集めてきました。玉置への信仰とは、社殿や玉石や巨杉群への参拝だけではなく、山裾と森林、流れ出る水系、静寂な気配など、この地域の自然に身を置くことであったと思われます。



しかし、この130年余りの間に自然林の大半は**人工林**にかわり、植えられた杉檜の成長に伴って谷水は減少、落ち葉の蓄積されない急斜面からは**土砂が流出**して、深く美しい淵を埋めています。豊かな森から生まれた多種多様な動物、植物、昆虫類も激減してしまいました。巨杉群に象徴される大自然の聖地を育んだ周辺の森のパワーは低下しています。このまま放置すれば状況はさらに悪化し、聖山の**水源涵養力も衰退**し続けてゆくでしょう。



玉置山南面には、神武天皇東征に関わる玉置古道をはじめ、豊富な歴史文化自然資産が埋もれたままになっています。また近年、林野庁が人工林の**多様で健全な森**への誘導を求め、神域地に展開された村有人工林をどうしてゆくのかという村の課題も出てきています。

地球環境の深刻化や社会情勢の混迷が深まるにつれ、スピリチュアルな世界に心の拠り所を求めてこの地を訪れる国内外のツーリストの数は増加を続けています。参拝客の多くが、ここは**生きている聖地**であり、神々の息吹に触れることのできる貴重な場所と明言しています。

二千年を超える歴史を持つ玉置が、この先も千年二千年にわたって現役の聖地としての役割を果たし続けてゆくために、今を生きる私達はどうすれば良いのか。

この地を支えてきた生命力豊かな森林エネルギーの回復を目指し、広大な自然林であった神域林**景観を再生**させるプロジェクトが求められています。（「神域」は歴史文化的意味で使用）

今年1月にカナダで開催されたCOP15では、人類存続の基盤として生態系による恵みを維持し回復させ自然を守るために、**生物多様性を回復**する”ネイチャーポジティブ(自然復興)”の国際目標が採択されました。2030年までの目標達成のため、国は気候変動や水源涵養、歴史風土保全等の様々な分野の施策と連携したロードマップを発表し、地方自治体や民間団体へも積極的な取り組みを要請しています。私たちは、この地域の景観再生に向けた取り組みを、”**ネイチャーポジティブ**”に向かう世界の流れと呼応した形で展開することが望ましいではないか、と考えています。



この紀伊山地の**世界遺産を未来に継承**するには、強靱な森や水源涵養力を持つ文化遺産を目指し、古道周辺の自然や生態系が放つ生命力や精神性に訴求する環境や**原風景を復元**していく必要性があります。玉置山周辺の森の植生や水脈を調査分析し、生態系豊かな森を目指す事業により新たな人口流入を図り、自然への畏敬の念を抱く**祈りの文化**を求めて訪れるトラベラーの期待に答え、地域観光経済の発展と、災害に強い森づくりを目指していきたいものです。

この地域が足元に抱える課題は紀伊山地全域の課題でもあり、日本各地での共通課題でもあります。世界遺産20周年を控え、それらを**グローバルな視点**からも見直し、国内外の人々の協力も求め、いのち輝く未来に向けての新しいアクションを共に考えるフォーラムを開催します。

玉置の世界遺産を守る会 <http://tamaki.worldproject.for.tamaki@gmail.com>

活動資金が不足しています。ご支援頂ければありがたいです。

ゆうちょ 記号 14710 番号 20301391 タマキノセカイイサンヨマモルカイ